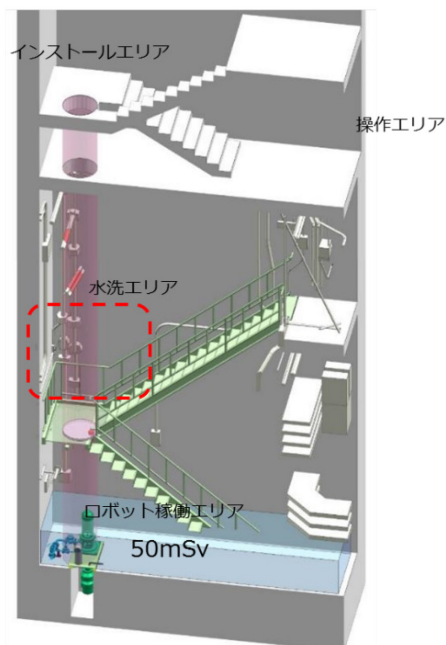


場 所		分 類		被ばく低減対策好事例集	
原子炉建屋内	R B	T B	3 4 5		
タービン建屋内	T B			2	距離
R ZONE	R			③	遮へい
Y ZONE	Y			④	線源の除去
G ZONE	G			⑤	遠隔、ロボット化
その他	Z			6	汚染拡大防止
( )				7	その他
				番号	0 2 - 0 8 - 0 4

内 容	1 ～ 4 号機 建屋内滞留残水排水設備設置における被ばく低減			
作業場所	3号機タービン建屋サービスエリア			
概 略	地下階は、高線量かつ滞留水があり、人力による作業が困難であるため、遠隔工法による筋肉ロボットを採用し、汚染水からのロボット引き上げ時には各種対策を実施した。			
評 価 (定性・ <b>定量</b> )	効 果		対策前	対策後
		線量率(mSv/h)	12	0.35
		人工数(人日)	—	—
事例詳細	地下階で使用し、汚染された筋肉ロボット等について、機器の線量率・汚染レベルの上昇を防ぐため、作業の都度、洗浄を実施した。当該エリアには遮蔽を設置すると共に、長いノズルを使用することで、洗浄者の被ばく線量の低減を図った。			



ロボットを地下階から引き上げる際は高圧水による洗浄を実施

汚染の蓄積・高線量率化を防止



×1 12mSv/h  
×2 1.2mSv/h  
×3 0.35mSv/h

地下階からの影響を低減する遮蔽を設置し、洗浄作業時の被ばくを低減